

産資・不織布

通信

54

産業資材向けのさまざまな用途に使用される。

イルターは、新型コロナウイルスの影響で衛生関連の需要が増える傾向に

ある。そうした販売機会を捉えているのが、燃系（広島県福山市）産

業資材向けの糸の受注は前期比で15%増加している。

フィルターの糸は、ポリエステル糸を3〜10本燃り合わせる多

本系が基本となる。その中で、フィラメントの双

糸を交換することもあ

同社は、20年弱の付き合いがある。

イルター製造会社から受注しており、糸の太さや本

る産業資材向けの比率は10%程度。糸の太さにもよるが、2万5千以上超

いた長さの注文が多い。

産業資材向けではその他、新たに銅線糸で新規顧客を開拓する。80番手

備後燃系

の綿糸2本と0.05mmの銅線を燃り合わせる糸で、銅線の抗菌効果をア

ピール。カケンテストセンター（カケン）の試験では、抗菌性能の基準値

の倍近い数字を示しており、今後、壁紙や防護服

が3割以上減少。そのた

め同社は、2009年に和紙事業部を立ち上げて和紙系「備和」

で自販を強化し

販売は3年連続

で前年比2割増

のペースを維持

太さの調整など試行錯誤を繰り返して銅線糸を開発

した。

占める自販の比率も現在は5割を超えた。

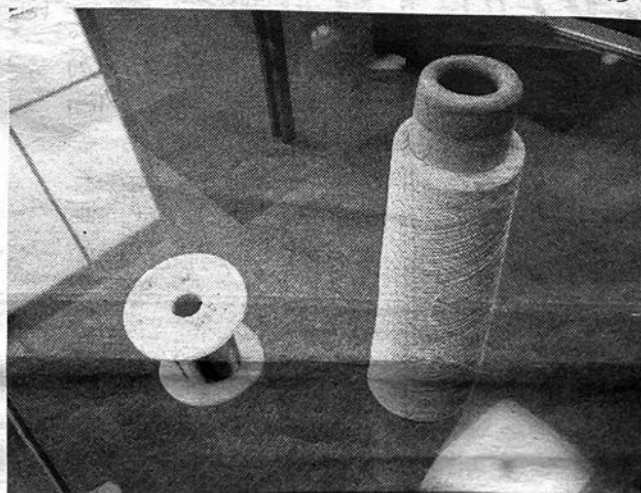
こうした取り組みが奏功し、今上半期（4〜9

月）売上高は新型コロナウイルス禍の中でも微減にとどめ

た。今後、銅線糸も織布注の獲得を本格化させ

る。（毎週月曜日に掲載）

銅線を使った燃糸に挑戦



整が難しかった」と話す。

こうした試行錯誤を経

て、開発にこぎ着けた。

価格は算出中だが、1キ

当たり7200円を想定

する。

業部を立ち上げて和紙系「備和」

で自販を強化し

販売は3年連続

で前年比2割増

のペースを維持

した。

こうした取り組みが奏功し、今上半期（4〜9

月）売上高は新型コロナウイルス禍の中でも微減にとどめ

た。今後、銅線糸も織布注の獲得を本格化させ

る。（毎週月曜日に掲載）

業部を立ち上げて和紙系「備和」

で自販を強化し

販売は3年連続